

藤川敬太君：安江敬司様。昨日は、IDMでお世話になりました。ロータリーについての厳格なお話とても勉強になりました。有難うございました。

豊田 暁君：安江さん、IDM有難うございました。皆さんの趣味やRCの仕組み、楽しみ方、とても為になりました！本当ですよ！

若尾文子さん：CF、高井文洋さん宜しくお願いします。

同文 { 堀部 道朗君・福島 房子さん・山口 正子さん
三品ゆき子さん・森 麻雄君・福井 寛悦君
井尾 達之君・藤吉 紀美君・西田 逸夫君
安江 敬司君・島田 紳助君



ブとのお互いの信頼関係をもつての進行が一番大切です。翌日のバンコクでは、識字率向上に関するCLEプロジェクトについての検討会が開催されました。今回の訪問を通して、GGの素晴らしさを改めて感じました。相手クラブと一緒にあって共に未来のために苦勞して事業を進めること、そして現地の方が心から喜んで頂く姿にとっても感動しました。世界には私たちの支援を待っている人々が大勢います。皆さんの愛情を世界に発信して下さい。地区国際奉仕委員会がお手伝い致します。

◎幹事報告・・・幹事：大野 博文

☆近隣クラブ例会変更

各務原RC→3月14日(水)職場訪問・21日(水)休会
28日(水)IGM夜間例会

関 RC→3月20日(火)休会・4月3日(火)花見例会

美濃RC→3月16日(金)休会・4月13日(金)休会

4月6日(金)3日へ3クラブ合同花見例会

☆日本事務局より、3月のロータリーレートは1ドル：108円の連絡がありました。

☆ガバナーエレクトより地区研修・協議会開催のご案内がありましたので開催日時をお知らせ致します。

日時：2018年4月14日(土)11:30~17:00。

会場：長良川国際会議場(主会場)・岐阜都ホテル(副会場)

本日の行事

■CF・国際奉仕委員会・・・高井文洋君&勝川生年君

■グローバル補助金 タイ国視察報告・勝川 生年君

◇昨年早々より、3330地区との水の浄化プロジェクト事業を検討して参りました。それに向けて4月に3330地区の地区大会に宮崎奉仕プロジェクト委員長と出席して交流を深め、5月末にロータリー財団(TRF)に提出する申請書を提出致しました。その後詳細な指摘を受け修正を重ね、昨年12月TRF本部審議部門へ提出し1月にプロジェクトの承認が下りました。そして、先日2月2日から5日迄、パストガバナー 剣田廣喜さん、地区国際奉仕委員長 篠原一行さん、地区事務局 服部さん、アドバイザー 高井文洋先生、そして私勝川と5名で、3330地区タイ国クラブ市へ訪問しました。バンコクから乗り継ぎ、クラブ国際空港へ着きますと、大きく立派に作られた横断幕をもって、Krabi RC・Leunng Krabi RC・Aoi Krabi RC、3RCメンバー30名程の盛大な出迎えを受けました。Banklonghin 小学校訪問では、生徒、先生達100名程が花道つくって、両国の国旗を振って“有難う”と笑顔で大歓迎されました。当委員会が用意した教材や文具やスポーツ用品を贈呈しました。そして水の浄化プロジェクト設備の見学をして、学校のホールで子ども達のバンド演奏を聞きながら皆で、食事を頂きました。午後には Baan Kao Klom 小学校訪問し、同じように当委員会が用意した教材等の贈呈をしました。夜には、3RCとのディナーパーティー、バナー交換やお土産交換をして更に親睦を深めました。グローバル・グラント(GG)は相手クラブ

■CLE(識字率)活動について・・・高井 文洋君

◇2月度の理事会で承認されましたように、当クラブは1,000ドルの資金の提供に許可がおりました。多治見RC、鈴鹿ベイRC、美濃加茂RC、地区のWCS、DDF、バンコクのシロムRCからの資金合計額51,000ドルとなります。3月のガバナー月信に掲載されます、奉仕プロジェクト部門委員会委員長 宮崎弘夫さんがCLEの活動について書かれていましたので、委員長には許可を取っていますので、少し抜粋して説明させていただきます。その中で識字率はどういう事なのかをお読みします。日本では、読み書きができると言う事は当たり前のように思われています。しかし、世界ではいまだに15歳以上の約8億の成人が、読み書き計算が出来ません。その内3分の2は女性です。また、その内の3分2がアジア太平洋地域に集中しています。読み書き計算は日常生活を送る上で“最低限必要な知識・知恵・技能”であり、人として生きるためにこの上なく必要なものであることは、間違いありません。読み書き、計算が出来ないと言う弊害を3つに分けて考えてみましょう。①経済的な問題・簡単な計算すらできないので、買い物や釣りの計算ができない。作った農作物を買いたたかれる、働いても正当な給料がもらえない。②健康の問題・病気のと看文字を読めない理由からどの薬を何錠飲めばよいのか分からず、過剰に摂取し命を危険にさらす可能性もあります。時計の文字盤を読めない場合、時間通りに毎日薬を服用することが困難で命を落とすケースもあります。③機会(チャンス)の損失です。これは自分の名前が書けなければ、社会保障を受ける機会や選挙で投票するといった社会参加の機会を逃してしまいます。急激な経済の変化や開発によって価値観が変わった社会では、読み書きができない人はさらに取り残され、貧困からの脱出が難しくなります。ロータリーでは全世界のすべてのひとたちが読み書きできるよう、さまざまな活動をしています。(詳細はガバナー月信3月号をご覧ください)